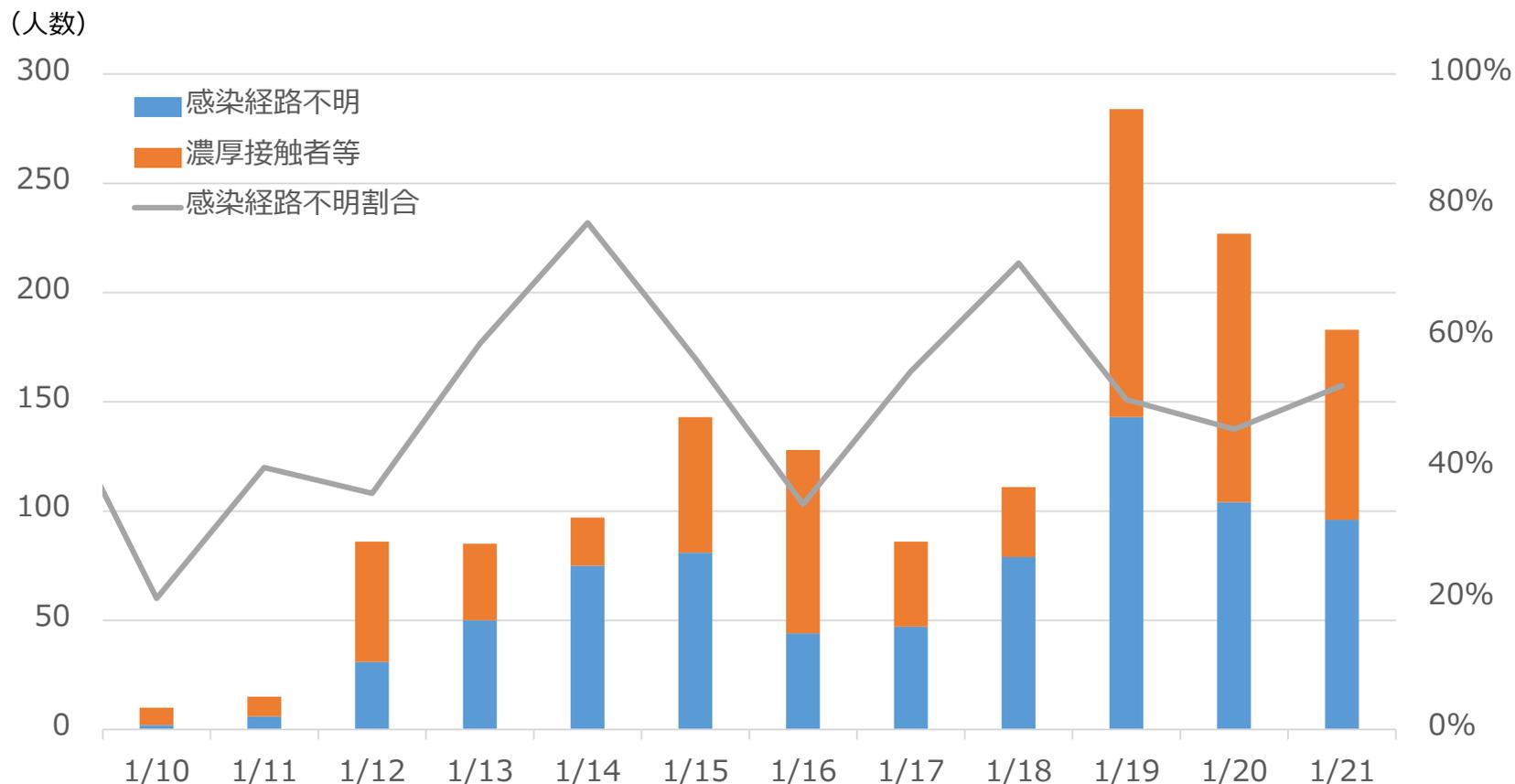


# 新型コロナウイルス感染症 感染の状況

令和4年1月22日

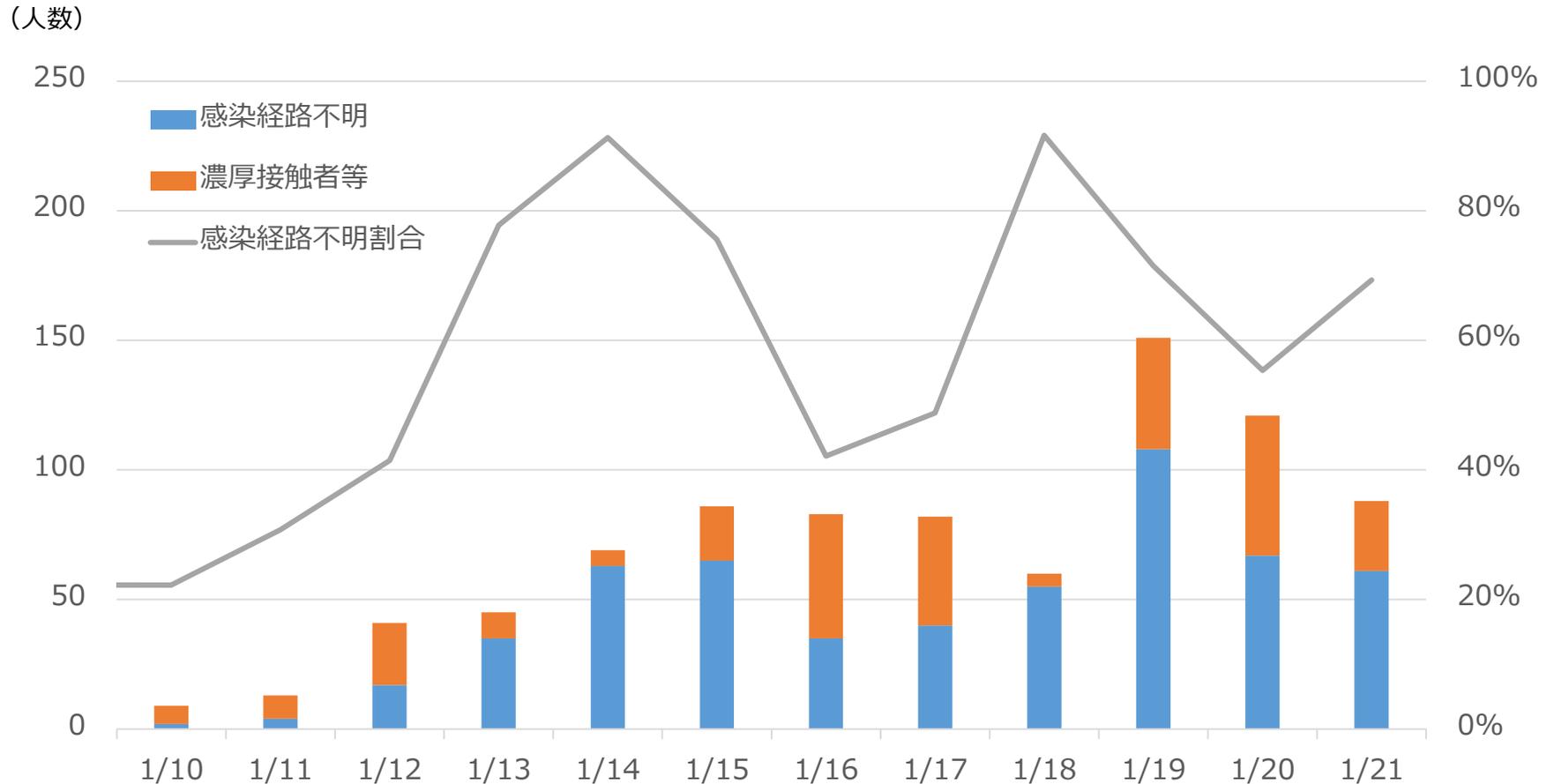
新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部  
保健医療調整本部

# 新規陽性者数の推移と感染経路不明割合 (青森県)



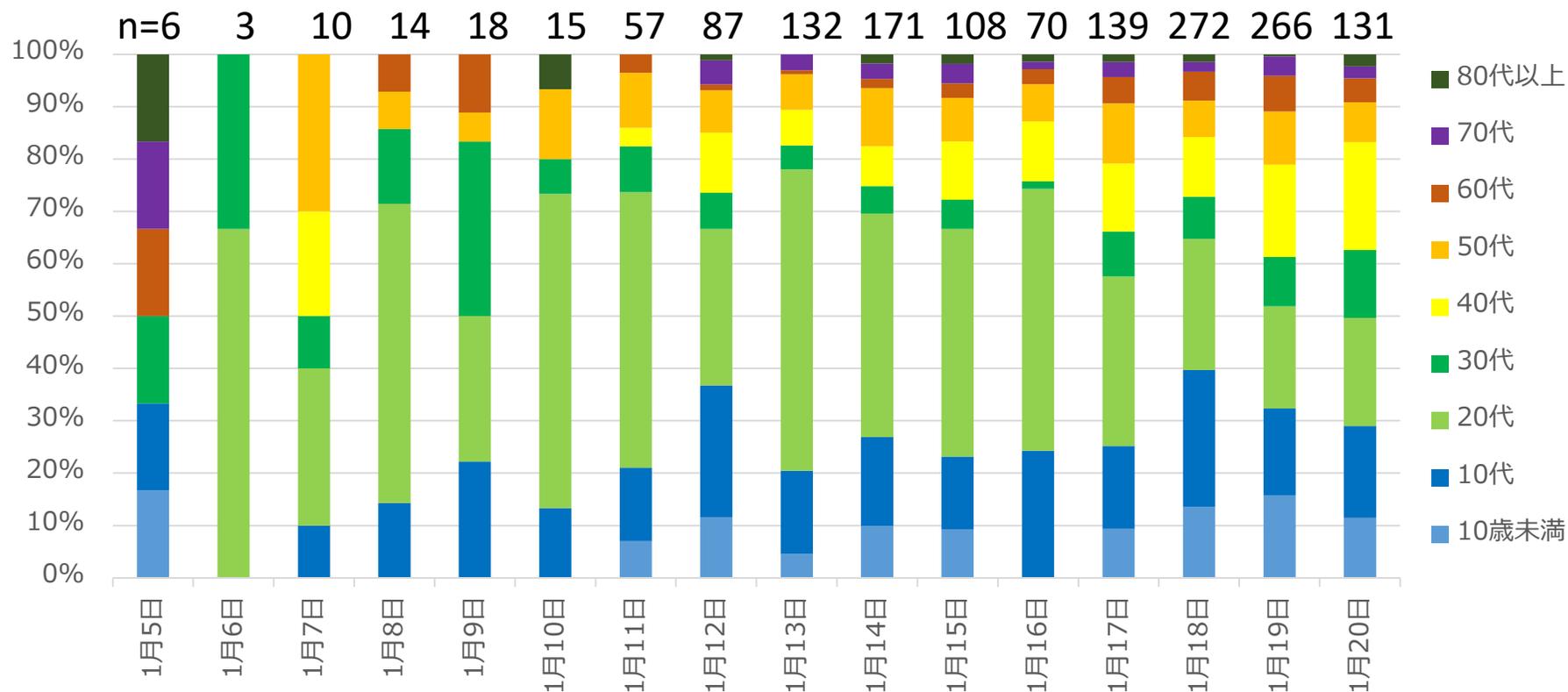
- 1/12~18は100人/日程度、1/19~20は200人/日程度で推移
- 感染経路不明（確認中を含む）が半数を占めている。

# 新規陽性者数の推移と感染経路不明割合 (弘前保健所管内)



○県全体よりも感染経路不明（又は確認中）の割合が高い。

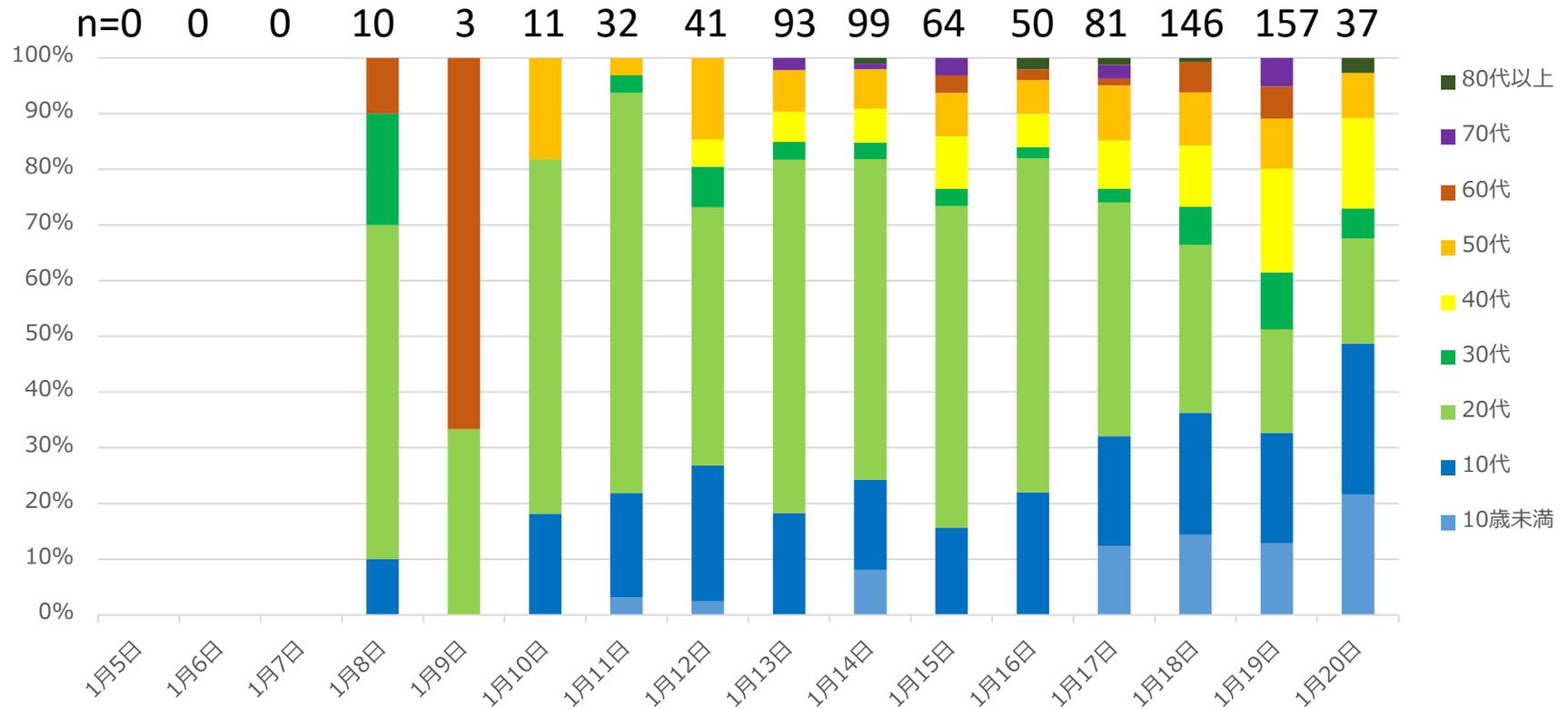
# 新規陽性者の年齢階級別割合の日別推移 (本県)



○1/10~16の1週間は、20代が中心

○1/17以降は、幅広い年代で感染が拡大

# 新規陽性者の年齢階級別割合の日別推移 (弘前保健所管内)

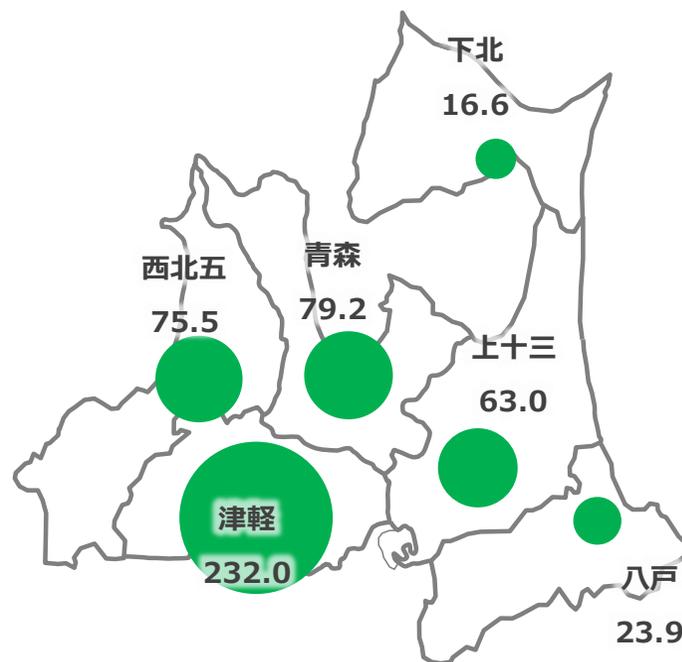
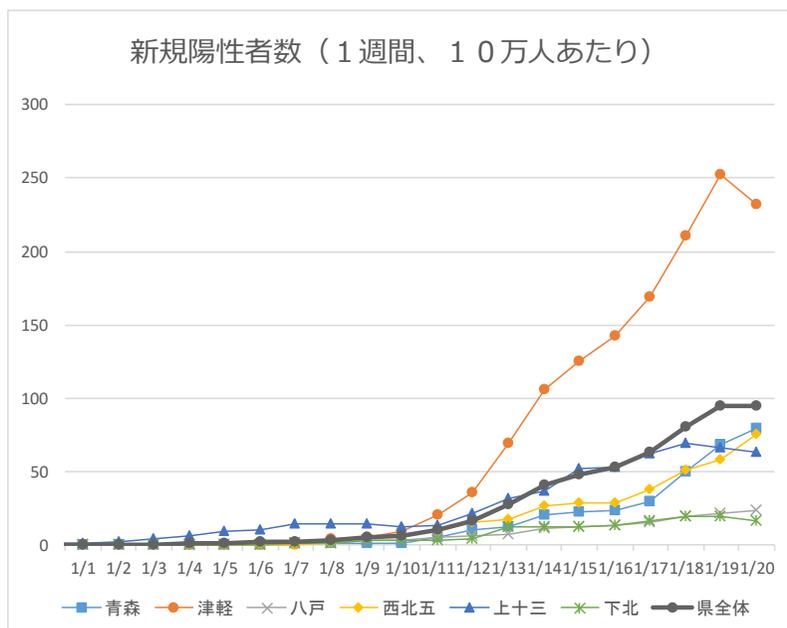


○全県の状況と同様の傾向であり、1/17以降は幅広い世代

# 圏域毎の新規陽性者数の推移

人口10万人あたりの1週間の新規陽性者数

	青森	津軽	八戸	西北五	上十三	下北	県全体
2022/1/20	79.2	232.0	23.9	75.5	63.0	16.6	95.0
(前週) 2022/1/13	12.7	69.6	7.2	17.0	31.5	12.1	27.3
前週比	↗	↗	↗	↗	↗	↗	↗



○県全域で上昇傾向がみられるが、  
弘前保健所管内（津軽圏域）が突出して高い

# 市町村ごとの新規陽性者数（1週間累計）

1月14日～20日の新規感染者数（市町村別）

管轄保健所	市町村名	累計感染者数
青森市保健所	青森市	201人～
東地方保健所	平内町	0人
	今別町	0人
	蓬田村	1～10人
	外ヶ浜町	1～10人

管轄保健所	市町村名	累計感染者数
五所川原保健所	五所川原市	11～50人
	つがる市	1～10人
	鱒ヶ沢町	1～10人
	深浦町	1～10人
	鶴田町	11～50人
	中泊町	1～10人

管轄保健所	市町村名	累計感染者数
弘前保健所	弘前市	201人～
	黒石市	11～50人
	平川市	51～100人
	西目屋村	1～10人
	藤崎町	11～50人
	大鱧町	11～50人
	田舎館村	1～10人
	板柳町	11～50人

凡例	人数
	0人
	1～10人
	11～50人
	51～100人
	101～200人
	201～



管轄保健所	市町村名	累計感染者数
むつ保健所	むつ市	1～10人
	大間町	0人
	東通村	1～10人
	風間浦村	0人
	佐井村	0人

管轄保健所	市町村名	累計感染者数
上十三保健所	十和田市	51～100人
	三沢市	11～50人
	野辺地町	0人
	七戸町	1～10人
	六戸町	0人
	横浜町	1～10人
	東北町	0人
	六ヶ所村	1～10人

管轄保健所	市町村名	累計感染者数
八戸市保健所	八戸市	11～50人
三戸地方保健所	三戸町	0人
	おいらせ町	11～50人
	五戸町	1～10人
	田子町	0人
	南部町	1～10人
	階上町	1～10人
	新郷村	0人

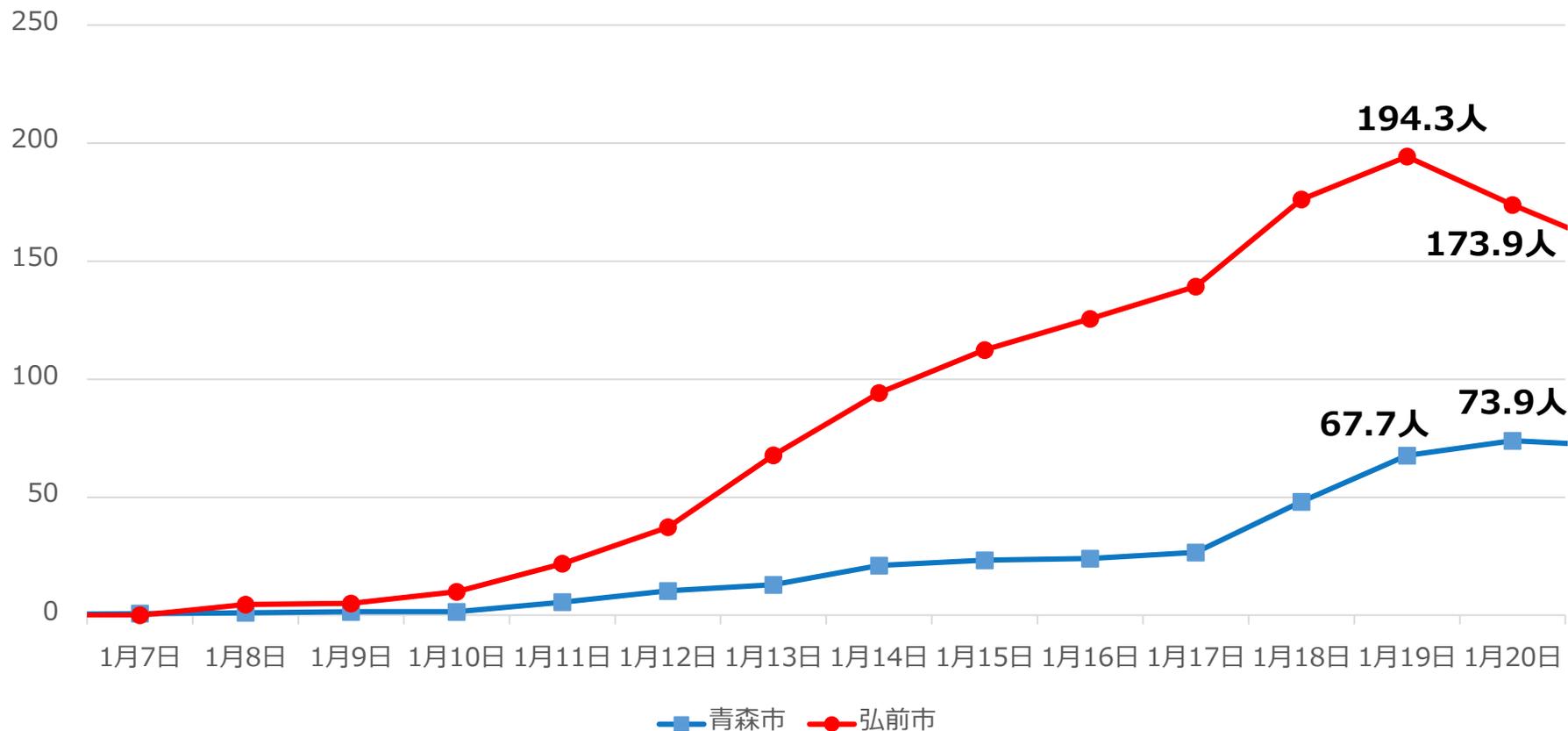
感染者数 1,153 名

県内	1,139 名
県外	17 名

○直近1週間の新規陽性者数では、青森市、弘前市が200人を超えている。（青森市223人、弘前市450人）

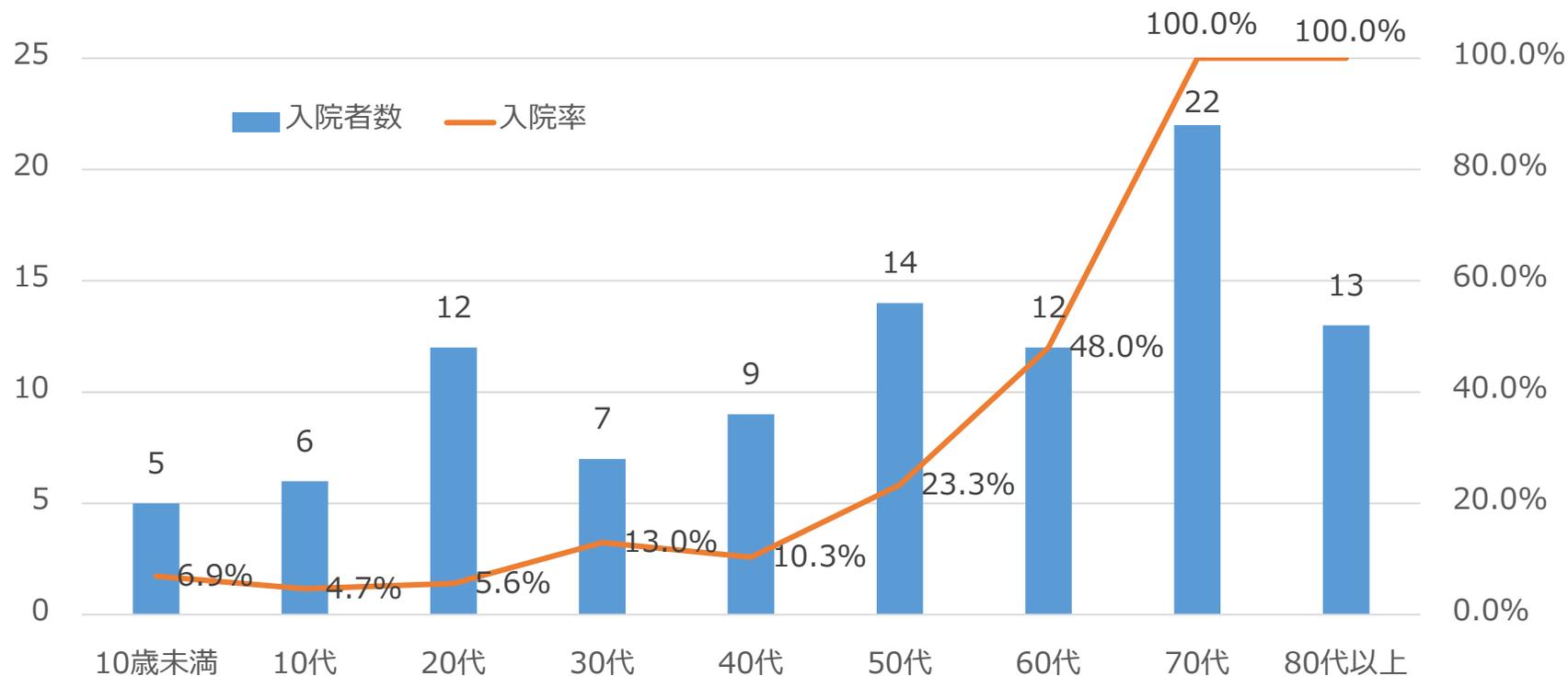
# 人口10万人あたりの新規陽性者数の推移

人口10万人あたりの6日間の新規陽性者数の推移



○弘前市の人口10万人あたりの6日間の新規陽性者数は、**200人程度**となってる（県全体の2倍）。

# 年齢階級別入院患者数と新規陽性者の入院率



※オミクロン患者の入院以外の対応を認めた1/11以降の患者

※1月21日までに療養先が決定した患者

○40代以下の入院率は1割程度

○50代以上から入院率が上昇

# 療養状況

人数	入院者数	宿泊療養者数	自宅療養者数	入院等調整者数	療養完了者数	死亡者	計
重症	0						0
前日比	+0						+0
中等症	2						2
前日比	+0						+0
その他	87	316	230	759	5,979	39	7,410
前日比	-1	+11	+51	+95	+27	+0	+183
合計	89	316	230	759	5,979	39	7,412
前日比	-1	+11	+51	+95	+27	+0	+183

※病床使用率 **21.5%** ( 89床 / 414 床 )

(弘前保健所管内の病床使用率 **27.5%** ( 25床 / 91 床 ) )

# 感染拡大のイメージ

1月前半



現在



今後の懸念

年末・年始等の  
人の移動・会食等

家庭内感染等

高齢者施設

高齢者

飲食店

中高年

職場

学校

若年層

# まとめ【感染状況】

- 1月10日～16日までの1週間は20代が中心
- 1月17日以降は、家族感染等により他の世代でも感染が拡大しており、二次・三次感染が増加している
- 県全域で上昇傾向がみられるが弘前保健所管内（特に弘前市）が突出して高い
- 現時点の感染状況においては、飲食店が感染拡大の中心であるとは言えないが、感染経路不明が多いこと、クラスターも含め、飲食店や会食が原因の感染も一部で見られること、幅広い年代の方が各種飲食することなど、今までの経験を踏まえると、**飲食店に対する時短要請等は、一定の感染拡大防止効果が見込まれる。**

# まとめ【保健・医療提供体制】

○現時点の保健・医療提供体制の状況

- ・ **入院**：ハイリスク軽症者等が入院しているが**ひっ迫していない**

89／413室（21.5%）

- ・ **宿泊**：ひっ迫しつつある

316／700室（45.1%）

- ・ **自宅**：パルスオキシメーターを追加で確保予定であり、物理的に対応可能

**健康観察人員については対応職員の増員で対応**

（現在県内で2400個 + 1/24の週で2600個）

○**40代以下の入院率は、1割程度**であるため、入院者は少ないが、今後、このま

ま感染拡大すれば、**50代以上も増加し、病床のひっ迫も懸念**

○入院等調整中759名については、すでに自宅療養を開始している患者も含まれ

ているが、弘前保健所で情報整理が追いついていない。今後情報整理し、必要

なトリアージを実施

